鴨池コミュニティ　公益財団法人 慈愛会

じあいコミュニティ掲示板

健康・福祉・文化・学び × みとめあい、かかわりあい、ささえあう町 鴨池 ～地域のみんなと一心団結ふるさとかもいけ～

令和4年6月　鴨池校区コミュニティ協議会と(公財)慈愛会は包括連携協定を締結しました。

公益財団法人 慈愛会　今村総合病院 掲示板

今村総合病院HPはコチラ▶

AI問診、はじまりました

このたび、今村総合病院では、2025年11月から順次、〈AI問診〉を導入しています。AI(人工知能)が患者様の入力内容に応じて自動で追加質問を行うことで、症状やお悩みをより的確に医師に伝えられるようになり、診察までの流れがスムーズになります。対象は総合内科や消化器内科、整形外科、皮膚科など複数科にわたり、来院時にタブレットで入力いただくだけでご利用可能です。不安な方にはスタッフが操作をサポートいたします。今後も、安心で快適な医療体験を提供するため、努めてまいります。

第9回 医療にまつわる 絵画コンクール作品展

力作を一堂に！全応募作品を展示する特別展

第9回「医療にまつわる絵画コンクール」には、多くの温かな作品が寄せられました。
公益財団法人慈愛会と鴨池校区コミュニティ協議会は包括連携協定を締結しており、その連携事業の一つとして「鴨池校区コミュニティ賞」を設け、地域とともに本コンクールを盛り上げています。

展示期間
令和7年12月18日(木)～
令和8年1月5日(月)
※最終日は16時まで

会 場
山形屋ななテラスギャラリー(1号館7階)

子どもたちの視点で描かれた医療の世界を、ぜひ会場でご覧ください。
皆さまのご来場をお待ちしております。

鴨池校区コミュニティ賞受賞
鹿児島市立鴨池小学校 3年
新村 優樹葉 さん

「脳を守る」市民公開講座を開催しました

市民公開講座「脳を守る２つのおはなし」を11月22日に開催し、当院の有水医師（脳神経内科主任部長）による脳卒中の予防、八代医師（ガンマナイフセンター長）によるガンマナイフ治療の講演には、鴨池校区をはじめ多くの皆さまにご参加いただきました。身近な健康課題を学ぶ機会として好評で、「生活を見直すきっかけになった」「治療の選択肢を知れた」といった声も寄せられています。ご参加いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

鴨池中学校の職場体験を受け入れました

鴨池中学校の3名を迎え、2日間の職場体験学習を実施しました。
院内のさまざまな職種の仕事に触れ、治療のサポートに使われる機器や、普段は見る機会の少ない業務も見学・体験しました。
初めて触れる医療の現場に、驚きや発見があったようで、「楽しかった」「将来に活かしたい」と感想をいただきました。
今回の体験が、将来の進路を考えるうえで少しでも参考になり、地域の医療を身近に感じるきっかけになれば幸いです。
これからも地域とのつながりを大切にし、学びの機会を提供してまいります。

薬剤師 軟膏薬の調整

薬剤師 うがい薬の調製

理学療法士 電気刺激療法

ポップアップストア 開催のお知らせ

今村総合病院では、毎週 月曜日と金曜日(祝日・第5週はなし) に鹿児島の人気店が入れ替わりで出店する「ポップアップストア」を開催しています。お弁当にパンやスイーツ、キッチンカーなど多彩なお店が並び、患者様はもちろん、地域の皆さまにも気軽にお立ち寄りいただけます。販売はテイクアウトのみとなります。開催時間は11:30～14:00、売り切れ次第終了です。病院にお越しの際は、ぜひお気に入りのお店を見つけてみてください。

※ 出店スケジュールは当院のホームページまたはInstagramでご確認ください。

臨港道路特別見学

今季最強寒気による北風が強く吹く12月３日(水)、ＬＬかもいけ編集部のメンバーで臨港道路の「いま」を特別に見学してきました。今回は港から船に乗せていただき、東洋・本間ＪＶさんが行っているＰ２橋梁下部工の海上現場へ。間近で見る現場での鋼管井筒内(橋脚を支える基礎)の大きさと深さとにまず圧倒されました。支保工と呼ばれる水圧と外圧から耐える構造物が５段あり、完全に水を抜いた状態で高さ２０ｍほど下にある底盤コンクリートが見えていました。この日はコンクリート打設前に鉄筋など設置する為の清掃作業を行っていました。

付近には監視船や交通船、コンクリートミキサー船も。なんとコンクリートミキサー船と起重機船には居住スペースもあるそうです。そして女性の方も作業員として活躍していました。そのあとは事務所にて施工シミュレーションを見ながらの説明を聞いて作業内容の理解を深めました。

普段は折込チラシなどでなんとなく作業内容を見ていましたが今回の見学を経て実際に目で見てそのあとで説明を聞いたりしないと分からないことが多いと感じました。多くの方に見てもらいたい反面、なかなか安全面で難しいこともあるので工夫して皆様へお伝え出来たらなと思います。ちなみに、コミュニティ協議会のホームページ臨港ニュース内で週間工程表もあります。図や写真もありイメージしやすいと思いますのでぜひご覧ください。

今回見学に際し快く取材にご協力いただきました国土交通省、東洋・本間ＪＶの皆さん、ありがとうございました。今後も安全第一でよろしくお願いいたします。

第20回九州地区交流・第40回糸洲会鹿児島県空手道選手権大会
令和７年１２月７日(日)鹿児島アリーナ武道場

鴨池小学低学年男子、小学高学年女子団体組手で優勝

第２０回九州地区交流・第４０回糸洲会鹿児島県空手道選手権大会が鹿児島市立鹿児島アリーナ武道場で開催された。
今年最後の大会であり、選手・保護者も燃え気迫の戦いで低学年男子、高学年女子団体組手で優勝し、個人戦でも６名が入賞しました。
今年は記録的な猛暑でした、それにもかかわらず熱い体育館の中で団員一同元気で頑張りました。

気迫の形演武(石川勢二)

中島凜音VS日高翠

参加選手記念撮影

大会結果

◎形個人戦
小学５・６年男子　３位 石川 創一郎
小学３・４年女子　２位 上村 和果
小学５・６年女子　３位 日高 翠

◎組手個人戦
小学５・６年男子　２位 上村 侑碁
小学３・４年女子　２位 上村 和果
小学５・６年女子　２位 中島 凜音

◎組手団体戦
小学低学年男子 **優勝**(下津佳史、石川勢二、嫩悠斗)
小学高学年女子 **優勝**(中島凜音、安田彩乃)

令和７年度生涯スポーツ功労者文部科学大臣表彰
鴨池空手道スポーツ少年団 井出俊郎さん

令和７年１０月１６日(木)、東京霞が関中央合同庁舎で鴨池空手道スポーツ少年団指導者の井出俊郎さんがその長年の功績を認められ文部科学大臣から表彰状が授与されました。井出さんは昭和５１年に鴨池空手道スポーツ少年団を立ち上げ、その後幼児、小・中高・社会人を対象に空手道を通じて青少年の健全育成に長年携わってきました。令和８年は創立５０周年を迎えます。スポーツ少年団・空手道が好きで現在も鹿児島県連常任相談役、市スポーツ少年団会長、県スポーツ少年団副本部長、九州ブロックスポーツ少年団会長、県スポーツ指導者協議会副会長等の職に携わっています。そんな井出さんにお話をお聞きしたところ、「県からの知らせに、まさか自分が受賞するとは半信半疑でした。私の空手道は「人間力を高める」「挨拶、返事、履物を揃える、礼節を重んじる」です。稽古は基本の突きや蹴りなど、毎日１９のルーティンをこなし生涯現役を目標にしています。現団員の保護者やOBを初め鴨池校区他関係者の皆様に今回の受賞を心から感謝しています。」と話されていました。
(広報部会)

コーラス☘四つ葉会の ニコニコ歌声広場

11月30日(日)に真砂福祉館で四つ葉会のニコニコ歌声広場が開催されました。リーダーの伊集院先生のキーボード伴奏と児玉さんのギター演奏で、姉妹デュオが秋の澄んだ空気を震わすような歌声を披露。また、飛び入り参加した子ども達の合唱による「手のひらを太陽に」はアイドルグループのように表情豊かに歌い上げ、シニア参加者の心を惹きつけました。またサプライズ参加によるイギリス人のアンガスさんと日本人のリミさんによるギター演奏で合唱の場が最高潮に達して、会場の窓ガラス越しに見える白色の芙蓉の花が、瞬く間にピンクに染まるような高揚感に包まれて、秋深い日に満たされた時を過ごしました。歌う方のそれぞれの思いを乗せて、参加者皆、感動の大波に揺られて夢心地の癒しの時を過ごし、会終了後も思わず、歌を口ずさみながら帰路に就く方々がおられました。
(ディスカバーかもいけ：松山)

センチュリーハウス管理組合 恒例！餅つき大会レポート

今年で13回目を迎えるセンチュリーハウス管理組合恒例の餅つき大会が12月7日(日)に開催されました。杵と臼を使った本格的な餅つきには幅広い年代が参加し、「よいしょ！」の掛け声とともに力強くお餅をつく姿が印象的で、つきたてのお餅はあんこ、きなこ、しょうゆなどで振る舞われました。伊敷幼稚園の年中さん・有留律くんは「おばあちゃんがマンションに住んでいるので来ました。おもちはあたたかくて、いいにおいがして、杵でぺったんぺったん楽しかった！」と笑顔で話してくれました。また、鴨池小学校5年の藤﨑こころさんは「ぜんざいが美味しかった。お餅を丸めるときにもちがひっついてやりにくかったけれど、お父さんやおじいちゃん、おばあちゃん、友達と一緒に集まれて楽しかったです。2年生のころから毎年参加しているので、また来年も参加したいです。」と語ってくれました。実家を訪れたご家族が孫やいとこを連れてくるなど、地域や世代を超えた交流の場にもなっています。このイベントを長年主催されている飯干誓二さん・千佳さんご夫婦は「一年に一度顔を合わせて挨拶したり、初めて会う方と交流を深めるきっかけになればうれしいですし、災害時や地域の活性化のためにも今後とも続けていきたいです。」と話していました。
(センチュリーハウス住民：石野百合香)